

2024年3月期 業績補足説明資料



コード：5985
2024年5月10日

AGENDA

I. 2024年3月期 決算概要

II. 2025年3月期 業績見通し

AGENDA

I. 2024年3月期 決算概要

II. 2025年3月期 業績見通し

HDD用サスペンションの売上低迷による減収減益及び新機種増産準備にかかる費用増、訴訟対応費用等が収益を圧迫。
HDDサスペンション事業で保有する固定資産の減損損失を計上。

✓ 売上高	51,496百万円（前期比▲1,902百万円/▲3.6%）
✓ 営業利益	▲3,542百万円（前期比▲3,846百万円/－%）
✓ 当期純利益	▲11,816百万円（前期比▲12,374百万円/－%）

EV関連製品

売上前期比+21.6%

- バスバーやLED関連製品等の増加により
前期比+21.6%増収

電子情報通信分野

売上前期比▲28.4%

- HDD用サスペンション
データセンター向け投資抑制の影響が継続しており、前期比▲32.9%減収
- プリンター関連
需要が減少傾向にあり前期比▲21.8%減収
- 通信関連
データセンター向け投資抑制の影響が継続しており、前期比▲7.2%減収

既存自動車分野

売上前期比+9.6%

- 材料関連
自動車生産の回復により前期比+7.0%増収
- 自動車関連
自動車生産の回復により前期比+10.5%増収

2024年3月期 決算概要

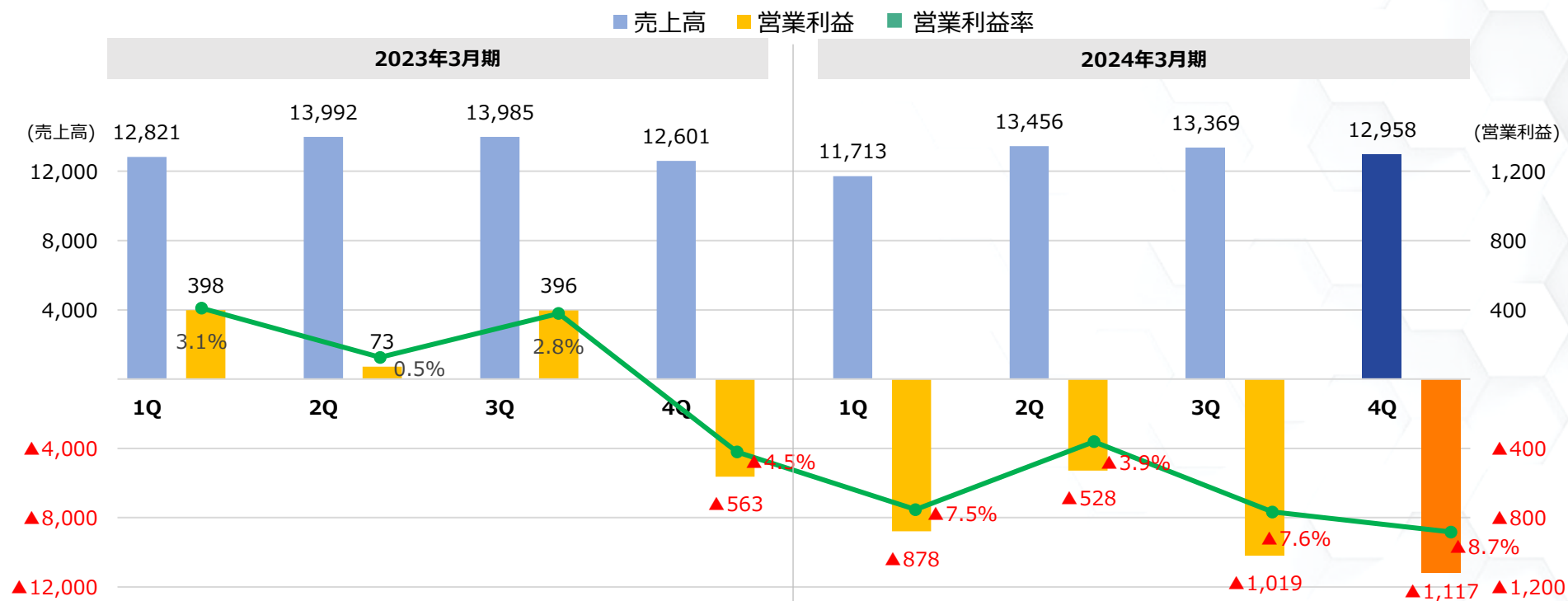
✓ 売上高	自動車市場が回復傾向にあり、EV関連製品及び既存自動車分野の売上高は前期比増収。一方で、電子情報通信分野の売上減少により全体では前期比▲3.6%減収となる51,496百万円。
✓ 営業利益	HDD用サスペンションの減収に加え、新機種生産性改善遅れ、新機種増産準備にかかる費用増加及び訴訟対応に関して有効な防御策を講じるための弁護士費用・その他の費用の増加等により営業損失▲3,542百万円
✓ 経常利益	主に為替差益422百万円、受取配当金154百万円、持ち分法による投資利益207百万円、作業屑売却益179百万円を計上。経常損失▲2,692百万円。
✓ 当期純利益	HDD用サスペンション及び連結子会社の固定資産の減損損失▲7,605百万円、繰延税金資産の取崩しにより法人税等調整額1,286百万円を計上。当期純損失▲11,816百万円。

単位：百万円	2023年3月期	2024年3月期	前年比	
	実績	実績		
売上高	53,399	51,496	▲1,902	▲3.6%
営業利益	304	▲3,542	▲3,846	-
経常利益	848	▲2,692	▲3,541	-
当期純利益	557	▲11,816	▲12,374	-
一株当たり利益	18.57	▲392.69		
平均為替レート	135.5円/ドル 141.0円/1-円	144.6円/ドル 156.8円/1-円		

対前年同四半期比

✓ EV関連製品	バスバーやLED関連製品等の拡販による増収増益
✓ 電子情報通信分野	HDD用サスペンションの新機種生産性改善遅れ及び訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他の費用の増加等
✓ 既存自動車分野	自動車生産が回復傾向であることにより増収増益

四半期別業績の推移



2024年3月期 事業別売上高・営業利益

対前期比

✓ EV関連製品	< 売上高 >	バスバーやLED関連製品等が大きく増加し前期比+21.6%増収。
	< 営業利益 >	需要好調により順調に伸長しており、前期比増益。
✓ 電子情報通信分野		HDD用サスペンション データセンター投資抑制の影響が継続しており前期比▲32.9%減収。
	< 売上高 >	プリンター関連 需要が減少傾向にあり前期比▲21.8%減収。
		通信関連 データセンター投資抑制の影響が継続しており前期比▲7.2%減収。
	< 営業利益 >	売上減少に加え、HDD用サスペンションの新機種増産対応にかかる費用の増加及び訴訟対応に関して有効な防衛策を講じる為の弁護士費用・その他の費用の増加等により赤字転落。
✓ 既存自動車分野	< 売上高 >	材料関連 自動車生産の回復により前期比+7.0%増収。
		自動車関連 自動車生産の回復により前期比+10.5%増収。
	< 営業利益 >	増収に伴い前期比で利益改善。

事業別売上高・営業利益 (単位：百万円)	2023年3月期 実績		2024年3月期 実績		前年比			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益	
連結合計	53,399	304	51,496	▲3,542	▲1,902	▲3.6%	▲3,846	-
EV関連製品	2,970	▲495	3,612	▲164	642	+21.6%	331	-
電子情報通信分野	19,480	770	13,954	▲3,901	▲5,525	▲28.4%	▲4,672	-
HDD用サスペンション	12,931	-	8,679	-	▲4,252	▲32.9%	-	-
プリンター関連	4,239	-	3,315	-	▲923	▲21.8%	-	-
通信関連	1,563	-	1,451	-	▲112	▲7.2%	-	-
その他	746	-	508	-	▲237	▲31.8%	-	-
既存自動車分野	30,948	29	33,928	523	2,980	+9.6%	494	+1,692.0%
材料関連	7,430	-	7,950	-	519	+7.0%	-	-
自動車関連	23,517	-	25,978	-	2,461	+10.5%	-	-

2024年3月期 連結貸借対照表

➤ 対前期末比

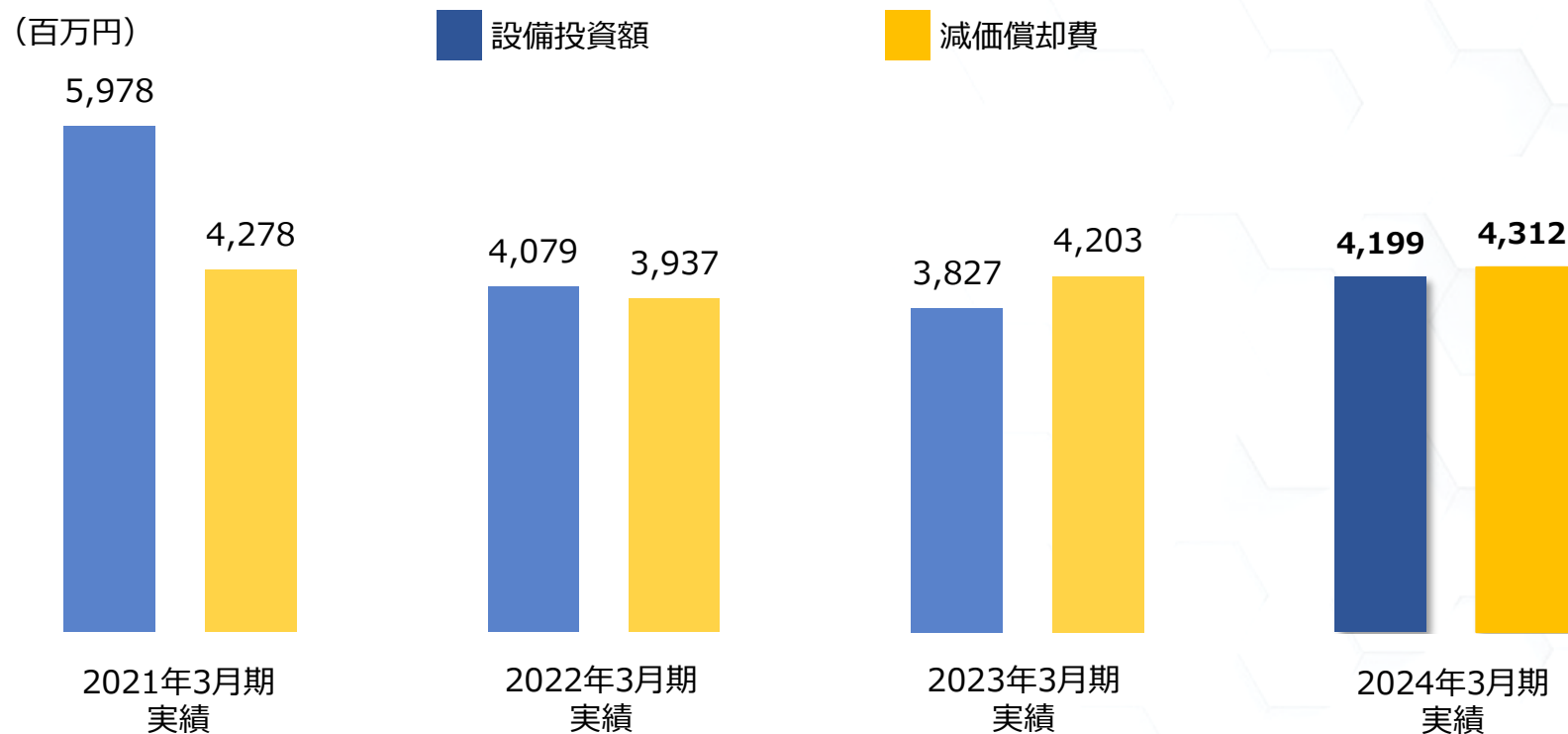
✓ 固定資産減少	HDD用サスペンション及び連結子会社の減損処理による有形固定資産減少▲7,481百万円 株価上昇による投資有価証券+2,032百万円
✓ 流動負債増加	買掛金▲316百万円、短期借入金+4,325百万円、未払金▲813百万円
✓ 固定負債増加	長期借入金▲271百万円、繰延税金負債+2,423百万円
✓ 純資産減少	当期純利益▲11,816百万円、配当金▲577百万円 その他有価証券評価差額+1,419百万円、為替換算調整勘定+1,067百万円

単位：百万円	2023年3月期 実績	2024年3月期 実績	前年比	
流動資産	31,449	31,648	+199	+0.6%
現預金	7,707	7,422	▲285	▲3.7%
売上債権	10,813	10,816	+2	+0.0%
棚卸資産	10,681	11,463	+781	+7.3%
固定資産	32,286	28,798	▲3,487	▲10.8%
総資産	63,735	60,447	▲3,288	▲5.2%
負債合計	25,696	31,095	+5,398	+21.0%
流動負債	21,324	24,584	+3,260	+15.3%
有利子負債	8,663	12,765	+4,101	+47.3%
固定負債	4,372	6,510	+2,138	+48.9%
有利子負債	2,368	2,023	▲344	▲14.5%
純資産合計	38,038	29,351	▲8,686	▲22.8%
負債純資産合計	63,735	60,447	▲3,288	▲5.2%

✓ **2024年3月期**

年度当初の投資計画(総額70億円)を一部延期。総額42億円の設備投資実績となった。

設備投資額・減価償却費



※上記設備投資額については完成ベース

AGENDA

I. 2024年3月期 決算概要

II.2025年3月期 業績見通し

➤ 対2024年3月期

✓ 売上高	データセンター向け投資が回復傾向にあり、主に電子情報通信分野の売上拡大により前期比+75.0億円増収見込み。
✓ 営業利益	売上拡大に加え、HDD用サスペンションの固定資産減損処理に伴う償却負担減少等により前期比+39.4億円改善見込み。
✓ 当期純利益	上記営業利益改善に加え、固定資産減損処理▲76.0億円のあった前期比で+119.1億円改善見込み。

単位：百万円	2024年3月期	2025年3月期							
	実績 通期	GGP24中計 通期	見通し			対前期比		GGP24中計比	
			上期	下期	通期	通期		通期	
売上高	51,496	63,000	27,500	31,500	59,000	+7,504	+14.6%	▲4,000	▲6.3%
営業利益	▲3,542	4,500	▲300	700	400	+3,942	-	▲4,100	▲91.1%
経常利益	▲2,692	-	▲300	700	400	+3,092	-	-	-
当期純利益	▲11,816	3,500	▲400	500	100	+11,916	-	▲3,400	▲97.1%
一株当たり利益	▲392.69	-	▲13.28	16.60	3.32				
平均為替レート	144.6円/ドル	110.0円/ドル	142.0円/ドル						
	141.0円/1-0	125.0円/1-0	155.0円/1-0						

対前期比

✓ EV関連製品	< 売上高 >	主にバスバー及び電流センサーの売上拡大。
	< 営業利益 >	事業拡大に向けた増産体制・開発拠点整備等の先行投資費用発生他により前年比減少。
✓ 電子情報通信分野	< 売上高 >	データセンター向け投資が回復傾向であり、HDD用サスペンション及び通信関連製品の需要が回復し売上拡大。前期比+69.4億円増収。
	< 営業利益 >	増収に伴う増益、HDD用サスペンションの固定資産減損処理に伴う償却負担減少等。
✓ 既存自動車分野	< 売上高 >	材料関連が増収となる一方で、既存自動車関連部品の減少により全体では前年比微減となる見込み。
	< 営業利益 >	減収に伴う利益減少。

事業別売上高・営業利益 (単位：百万円)	2024年3月期		2025年3月期							
	実績		GGP24中計		見通し		前年比			
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高		営業利益	
連結合計	51,496	▲3,542	63,000	4,500	59,000	400	+7,504	+14.6%	+3,942	-
EV関連製品	3,612	▲164	3,900	360	4,500	▲220	+888	+24.6%	▲56	-
電子情報通信分野	13,954	▲3,901	29,100	2,640	20,900	140	+6,946	+49.8%	+4,041	-
HDD用サスペンション	8,679	-	21,500	-	14,370	-	+5,691	+65.6%	-	-
プリンター関連	3,315	-	3,800	-	3,460	-	+145	+4.4%	-	-
通信関連	1,451	-	2,700	-	2,540	-	+1,089	+75.1%	-	-
その他	508	-	1,100	-	530	-	+22	+4.3%	-	-
既存自動車分野	33,928	523	30,000	1,500	33,600	480	▲328	▲1.0%	▲43	▲8.2%
材料関連	7,950	-	7,150	-	9,360	-	+1,410	+17.7%	-	-
自動車関連	25,978	-	22,850	-	24,240	-	▲1,738	▲6.7%	-	-

➤ **GGP24中計財務・資本戦略**

最適な資本構成を意識したBSマネジメントを推進すべく、自己新本の積み増しを抑制するための積極的な株主還元を実施。

➤ **配当方針**

✓ GGP24中計	ROE9.0%を超過するまでは配当性向75%を維持
✓ 2023年3月期 ✓ 2024年3月期	ROE9.0%を超過するまで配当性向を75%とする（配当下限は20円を継続）
✓ 2025年3月期	当社事業の取り巻く経営環境は、GGP24発表当初より大きく変動しており、今後の事業業績についての回復の見通しが不透明なことから年間配当10円を予定。

	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期 (予想)
中間配当	9円	9円	9円	11円	10円	0円
期末配当	11円	11円	11円	9円	10円	10円
年間配当合計	20円	20円	20円	20円	20円	10円

※今後業績予想が修正される場合、配当方針に基づき修正されることとなります。

【ご注意】

本日の説明資料には、当社の事業に関する業績見通し、将来の計画・方針等に関する記述が含まれていますので、株券等の取引を行う際には、金融商品取引法その他の法令の遵守をお願い申し上げます。また、将来予想は、現時点で入手できる情報に基づき作成しており、既知または未知のリスク・不確実な要因等を含んでいるため、当社の実際の業績、事業活動や財政状態が、将来予想の内容と大きく異なる場合がありますが、そのような場合であっても当社は、将来予想の内容を更新または修正して公表・開示する責任を負うものではありません。

